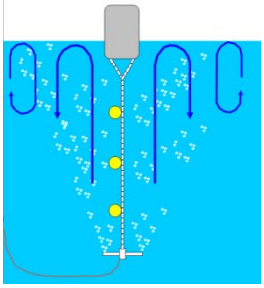
水質改善への取り組みについて

【曝気設備】

一庫ダムでは、貯水池の水質改善の取り組みとして、アオコ発生の抑制を目的とした曝気設備の運転を行っています。平成 23 年の曝気設備増設以降、以前と比べてアオコの発生が軽減されてきており、抑制効果が得られています。



浅層曝気循環設備のしくみ

水深約15～20mから空気泡を出して、泡の浮く力を利用して湖水を循環させます。表面に浮いている植物プランクトンを光の届かない深い層に移動させることで、アオコの発生を抑制します。

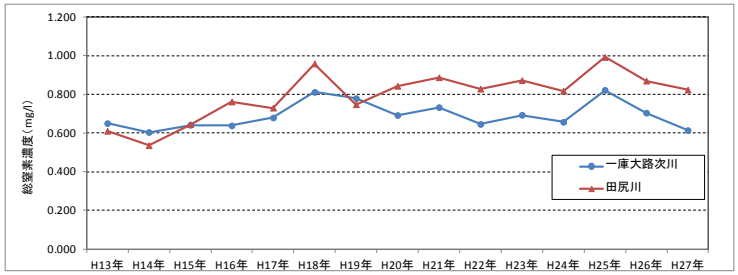
浅層曝気循環設備の設置状況　　H18 年～ 2 基運転
H23 年～ 6 基運転

アオコが広範囲に発生し、貯水池が緑黄色に見えていました。(H22.8.27 撮影)

同じ時期の 1 年後では、アオコの発生は軽減されています。(H23.8.26 撮影)

【流域のみなさまへお願い】

アオコの発生は、窒素やリンといった栄養塩（生物の増殖に不可欠な物質）が、ダム貯水池に多く供給・蓄積されることも大きな要因となっています。



一庫ダム貯水池に流入する河川の窒素濃度の推移（年平均値）

例えば、一庫ダム貯水池に流入する河川の窒素濃度の推移をみると、横ばいかやや増加傾向にあります。一庫ダム貯水池のアオコを軽減するためには、湖に流れ込む窒素やリンなどを、これまで以上に減らすことも大切です。

ダム湖及び猪名川の水質保全のため、流域のみなさまのご理解とご協力をお願いします。環境省のホームページに、河川の水質改善のために日々の暮らしの中でできる取り組みが紹介されています。ぜひご覧下さい。

（参考）　生活排水読本（環境省）　http://www.env.go.jp/water/seikatsu/index.html